

サステナビリティ経営の推進体制

デンカグループは、サステナビリティを巡るマテリアリティ（経営重要課題）を特定し、経営計画「Mission 2030」の中で「3つの成長戦略（事業価値創造・人財価値創造・経営価値創造）」とKPIと目標を設定して、課題解決に取り組んでいます。

サステナビリティ推進 担当役員メッセージ



取締役 常務執行役員
CTO・サステナビリティ推進担当

こう さか まさ のぶ
香坂 昌信

サステナビリティ委員会は、デンカグループのサステナビリティ（中長期的な持続性）を巡る課題に対して、グループ全体が積極的・能動的な取り組みを推進・遂行するために2023年度に設置いたしました。「Mission 2030」の成長戦略で設定した非財務KPI・目標達成に向けた活動報告内容を審議するとともに、その結果を取締役会へ報告し、議論や提言を各活動に反映させています。

2026年度は、本委員会の実効性をこれまで以上に高め、コーポレートガバナンス・コードの2026年改訂への対応や、SSBJ（サステナビリティ開示基準）へのグループ全体の対応を推進する組織として、新たにサステナビリティ推進連絡会を委員会傘下に設置するなど、大幅な体制の変更を行うとともに、マテリアリティの見直しにも着手しております。デンカグループのサステナビリティを巡る課題に対して、取締役会の監督の下、機動性かつ実行力のある委員会の運営を行ってまいります。

デンカグループ サステナビリティ経営の歩み

デンカグループは、世界の化学工業のイニシアチブである「レスポンシブル・ケア」を起点とする、企業の社会的責任（CSR）への取り組みを、社会・環境・ガバナンス（ESG）全体に拡大し、経営基盤の強化に取り組んでいます。現在は、サステナビリティ委員会が、マテリアリティに基づく非財務KPIの制定と目標達成進捗を管理し、取締役会はその報告を受けて管理・監督を行っています。

